○座敷・寝床（夜）

仁、キスをしたままヒロインを抱えて寝床へ移動。（ＳＥ）

【①寄り】

仁　「（移動しながら深いキス）」

仁　「（キスをしたままヒロインを布団へ押し倒す）」

仁　「（キスをしたままヒロインの帯を解く）」

【①】

仁　「（ヒロインの姿を眺める）……きれい……」

仁　「俺の腕の中で、着物を乱して、期待したようなうっとりした目で、俺を見てくれてる……」

仁　「綺麗すぎて……心臓が痛い」

【①寄り：少しずつ下へ】

仁　「（口から首元、肩へキス）」

仁　「着物、脱がせていい？」

ヒロイン、頷く。

仁　「（着物を脱がせる）」

仁　「（胸にキスをしてから愛撫）」

ヒロイン、仁を抱きしめる。

仁　「（抱き締められる）んんっ、んふふふ」

仁　「（胸から口を離す）、抱きしめてもらえた」

仁　「（胸にキスをしながら）……胸、弱い……？」

ヒロイン、頷く。

仁　「ははっ、そっか……弱いんだ……（胸の愛撫を続ける）」

【①】

仁　「（顔を上げる）。ねぇ、今更だけど……初めて、だよね？」

ヒロイン、頷く。

仁　「水揚げも、まだ……？」

ヒロイン、頷く。

仁　「（ちょっと安心したように）……そっか」

ヒロイン「あっ、でも……」

仁　「えっ、でも？　……なに？」

ヒロイン「おもちゃは……使ったことある……」

仁　「あ……あ～……なるほど……おもちゃは、あるんだ……」

仁　「んー……いいんだか悪いんだか……なんか複雑……（複雑そうな唸り声）……」

【①：下】

仁　「（ヒロインの足元に移動）……脚、開ける？」

ヒロイン、脚を開く。

仁　「（口で秘部を愛撫）」

仁　「……良い？」

ヒロイン、頷く。

仁　「（口での愛撫を続けながら）……おもちゃと……どっちがいい？」

ヒロイン「対抗してるの？」

仁　「（口での愛撫を続けながら）……ふふっ……うん、おもちゃには負けたくない」

【①】

仁　「（起き上がる）……指、挿れるよ」

ヒロイン、頷く。

仁　「（指を挿入する）……っわぁ……もうすっごい濡れてる……」

仁　「（指で愛撫をしながら）……ふふっ
……やっぱり、自分でしてるからかな……」

【①立ち：⑦寄り】

仁　「（指での愛撫を続けながら耳へも愛撫）」

仁　「（指での愛撫を続けながら）……これなら……痛くない、かな……」

ヒロイン、顔を上げる。

【①】

仁　「（手を止める）っ！　どうしたの？」

ヒロイン、仁の手を誘導して甘い声を上げる。

仁　「っ！」

仁　「（愛撫を再開する）……ここ……？　ここが好きなの……？」

ヒロイン、頷く。

仁　「（指での愛撫を続けながら）……自分で誘導して、自分のイイとこ教えるとか……エロすぎるって……ッ」

【①立ち：⑦寄り】

仁　「（指での愛撫も続けながら、余裕がない様子で耳への愛撫を再開）」

仁　「はぁ……！　キツくなってきたッ……」

【①と⑨の間】

仁　「（服を脱ぐ）」

ヒロイン、体を起こす。

【①】

仁　「ん？　なに？　今度はどうしたの？」

ヒロイン「お返ししたい」

【①】

仁　「え？　お返しって、え、なにを、おあっ！」

ヒロイン、仁を押し倒す。

仁　「（押し倒される）――っ！　な、なにするつもり……？」

ヒロイン、仁の足元へ移動する。

【①：上】

仁　「っ?!　ちょ、ちょっと待っ――！」

ヒロイン、口で愛撫を始める。

仁　「（咥えられる）っ！　ああぁっ……まじかっ……はっ、んんっ……はぁっ……」

仁　「くっ……！　ちょ……ん、はぁ……
そんなっ、しなくて、いいからっ……んっ……！」

仁　「ッ?!　待って！　そこっ……！　舌で、ぐりぐりすんのッ……！」

仁　「うあぁっ……！　一緒にッ、それッ、揉むのもやめて！　んあぁ！」

ヒロイン「気持ちよさそう」

仁　「っ！　……そりゃ、気持ちいいよ……っ～～！　っはぁ、初めてなのにっ、
なんでこんなに上手いのっ……！」

仁　「男に教わったんじゃない、よねっ……？」

ヒロイン「姐さん達に教わったの」

仁　「……なるほど……っ確かに、花魁や遊女達と一緒に過ごせば、
そういう知識も付くのか、あぁぁッ……んっ……！　くっ……！」

仁　「おもちゃといい、これといい……吉原の女性はっ、手強いな……」

仁　「あッ……！　まって、まってまってまって……！　もういい！
もう、いいからっ……！」

【①】

仁　「（ヒロインを引きはがす）っ！　はぁ……はぁ……んんっ……はぁ……」

ヒロイン「イかせたかったのに……」

仁　「そんな残念そうに言わないでよ……せっかくの初めてなのに、
これでイくのはもったいないでしょ……」

仁　「（小声）……ってかちょっと出た気がする……」

【①立ち：⑦寄り】

仁　「（ヒロインを抱き締め）、また今度、その時は最後までしてくれる？」

ヒロイン、頷く。

【①寄り】

仁　「（微笑む）、ありがとう。（キス一回）」

仁、ヒロインを押し倒す。

【①】

仁　「（押し倒す）っ。はぁっ……もう限界……いい……？」

ヒロイン、頷く。

仁　「（嬉しそうに笑う）……うん……（体を起こす）」

【①と⑨の間】

仁　「（避妊具を手に取り、開けて付ける）」

【①】

仁　「（ヒロインの傍へ戻る）……（落ち着くように大きく息を吐く）……いくよ？」

【①立ち：①から（一気に入る）で⑦寄り】

仁　「（挿れる）っ！　は……あぁっ……っ?!　あッやばッ……！

（一気に入る）うあぁっ！」

仁　「……ハァッ……はっ……ごめんッ……いっきに……痛い……？」

ヒロイン「大丈夫……」

仁　「ほんと……？　痛くないの？」

ヒロイン、頷く。

仁　「そっか……よかった……」

仁　「はぁ……びっくりした……すごいっ、滑るみたいに……入った……」

仁　「んんっ……あぁ……やばいな……もう、イきそうッ……」

ヒロイン、突然腰を一回動かす。

仁　「ああッ?!　（耐えながら）……ちょっとッ……！　くッ……！」

仁　「（耐えながら）急にッ……！　動かないでよ……！」

仁　「はぁっ……！　もうだめだ……動いていいっ？」

ヒロイン「早くっ……！」

仁　「……っそんな声で……急かさないで、よッ……！　（腰を入れる）」

仁　「（少し激し目に腰を動かす息遣い）」

仁　「（腰を動かしながら）……はぁ、やばい……舐めてもらったせいか……全然ッ、余裕、ないっ……！」

ヒロイン「気持ちいい……ッ」

仁　「っ、あぁ……かわいい……俺も、気持ちいいっ……」

仁　「（腰を動かしながら耳も愛撫する）」

仁　「はぁっ……！　もう、あぁだめだッ、イきそう……！」

仁　「一緒がいい……あぁっん、一緒……が……！」

ヒロイン「（仁の耳元に）一緒に、イこう……？」

仁　「ッ?!　っ……耳元でッ……あああ……！　なんでっ、
初めてなのに、そんなっ、俺を煽るの、上手いの……ッ！」

仁　「（更に激しく腰を動かしながら）　っ……はぁ、じゃあ、一緒にッ……
あぁッ……イく……あッイく、イく、イくイくイッ、く……！　あぁぁッ！」

仁　「あァ……あッ……んんんっ……っ……はぁ……はぁ……」

【①寄り】

仁　「（深いキス）」

仁、ヒロインを抱きしめる。

【①立ち：⑦寄り】

仁　「はぁ……すごかった……」

ヒロイン「すごい……気持ちよかった」

仁　「うん、それはすごい伝わった。たくさん乱れてくれてたから」

仁　「でも……」

仁　「初めてなのにこれは……強すぎるでしょ……」

仁　「ははっ、さすが、吉原で育っただけある」

仁　「初めてだから俺が頑張らなきゃって、思ってた俺が間違ってました……」

ヒロイン「……もっと、私も、気持ちよくしてあげたい」

仁　「え……（小さく微笑む）」

【①】

仁　「いいの？　そんなこと言って。俺調子に乗っちゃうよ？」

仁　「俺のこと、もっと気持ちよくしてくれるの？」

ヒロイン、頷く。

仁　「（小さく笑う）、じゃあ、甘えちゃおっかなぁ」

【①と⑨の間】

仁　「（起き上がる）」

【③と⑪の間】

仁　「ここ、跨って。向き合うように」

ヒロイン「対面座位？」

仁　「ふっ、そう。対面座位」

ヒロイン、起き上がり仁に跨る。

【①寄り】

仁　「（ヒロインを抱える）、ありがとう、（触れるだけのキス数回）」

【①】

仁　「……これで、俺のことイかせて？」

ヒロイン、仁にキス。

仁　「（深いキスをされる）」

ヒロイン「ゴム、ちょうだい」

仁　「もしかして、付けてくれるの？」

ヒロイン、頷く。

仁　「やった。（避妊具を手に取る）、はい」

仁、ヒロインに避妊具を渡す。
ヒロイン、避妊具を仁に付ける。

仁　「（付けられる）……んっ……んん……はぁ、上手。ありがとう」

仁　「無理はしないでいいから、ゆっくりね……」

ヒロイン、ゆっくり腰を降ろし始める。

【①寄り】

仁　「（挿入されていく）あっ……んっ……く、ぅ……んんん……
はぁ……気持ちい……」

ヒロイン「気持ちいい？」

仁　「うん……挿れただけで、もう気持ちいい……」

仁　「（深いキス数秒）」

仁　「あなたの好きに動いて……俺のこと、もっと気持ちよくして？」

ヒロイン、自分で動き始める。

仁　「（気持ちよさそうな息遣い）」

仁　「あぁッ……はぁ……これ……すっごい、いいッ……」

【①：やや下】

仁　「（息遣いを続けて口で胸を愛撫する）」

ヒロイン、大きく声を上げる。

仁　「（息遣いと胸の愛撫を続ける）……んはぁッ……は、かわいい……
んんっ～……」

ヒロイン、仁の顔を上げさせる。

【①寄り】

仁　「（胸から口を離す）っ……！　（キスをされる）んんっ?!　んん～……ッ！」

仁　「（口が離れる）ッはぁ……！
は、もう……キスでイきそうになっちゃうよ……」

ヒロイン「したくなっちゃって」

仁　「そっか……嬉しい……じゃあ、キスしながら、シよ？」

仁　「（深いキス）」

仁　「俺も……動いていい……？」

ヒロイン、頷く。

仁　「（嬉しそうに小さく笑い、深いキスをしながら腰を激しく動かし始める）」

仁　「（激しい息遣いをしながら）んあっ……！
はっ、ごめんッいきなり、激しくして……！」

仁　「でも……！　もうっ……イきそう……！」

ヒロイン「私も、イきそう」

仁　「ほんと……？　はぁ……じゃあ……またっ、一緒に……！　（キスをする）」

仁　「（キスと息遣いを続けながら）……んんッ……ん、んん～ッ……！
あッ、もうっ……！　は、イくッ……イッ……くッ……！」

仁　「（キスをしながら絶頂）んんんん～～～ッ！」

仁　「（キスを続けたまま余韻）ん、んんんっ……あッ、ん……
（口を離す）はぁっ……」

【①】

仁　「はぁ……はぁ……大丈夫……？　体、痛かったり……」

ヒロイン「大丈夫」

【①寄り】

仁　「そっか……よかった……（キス一回）」

ヒロイン、仁の上から退く。

【⑯：ヒロインに背を向けながら】

仁　「（避妊具を外し処理する）……ふぅ……

まさか、初めてで二回もできちゃうとは……」

ヒロイン、布団に入り仁を呼ぶ。

【⑨：ヒロインの方へ振り向く】

仁　「ん？　なに？」

ヒロイン「こっち、来て」